

第2回静岡県水難事故防止対策協議会

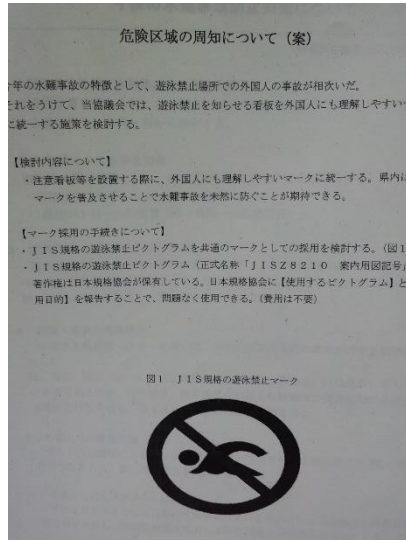
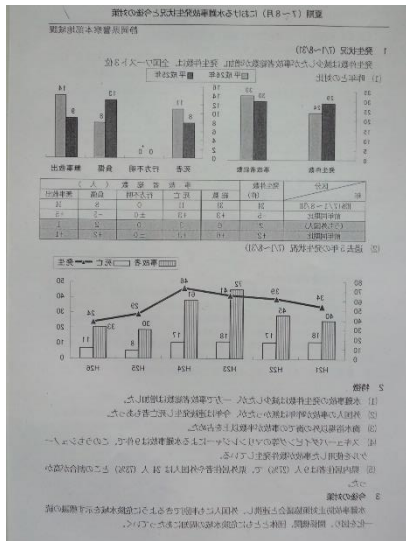
日時 平成26年10月27日(月)

場所 静岡県庁

参加者 野口貴史

静岡県水難事故防止対策協議会(会長:岩田孝仁危機管理監)では、水の事故が最も多発する6月1日から9月30日までの4ヶ月間、県民等を対象に水難事故防止に取り組んで参りました。
その間の水難事故は29件(昨年比-13件)発生し、死亡者は13人(昨年比+1人)、負傷者10人(昨年比-6人)、救出者16人(昨年比-6人)となりました。
本年の水難事故防止対策の実施結果等と、来年の水難事故防止対策について協議するため、第2回静岡県水難事故防止対策協議会を開催します。

- 1 日時
平成26年10月27日(月) 午後2時00分から
- 2 場所
県庁別館5階 危機管理センター東側
- 3 出席者
静岡県危機管理部、静岡県警察本部地域課、清水海上保安部、下田海上保安部、御前崎海上保安署、静岡地方気象台、中部電力(株)静岡支店等
- 4 次第
 - (1) 静岡県水難事故防止対策協議会会長(岩田危機管理監)挨拶
 - (2) 議題
 - ア 夏期における水難事故発生状況と今後の対策
 - イ 今年の水難事故防止対策について
 - ウ 水難事故防止対策協議会委員による活動
 - エ 危険区域の周知について
 - オ 今後の水難事故防止対策について



夏場の事故の発生状況及び各団体の活動報告の場で御前崎渚の交番が開所し、活動している事を説明し資料を配布させて頂きました。
静岡警察本部さんの発表では6月に行った御前崎渚の交番救難所主催の官民合同訓練も報告されていました。
外国人の水難事故も目立ったため、今後、遊泳禁止の文字だけでなく画像のようなマークを採用していく話もされておりました。
問題点として、静岡県だけで決める事なのか?観光客は県外からお越しになる方が多いのです!!だからこそ、全国で統一をを図ってほしいと思います。
オレンジフラッグもそうなのだが、その場所だけで決めては、意味がないのでは?? まずは規模の大きな各団体を集め、物事を決める事は良いと思います。
決め事をどうやって、一般の方達まで浸透させるかを論点にする事はできているのか? 疑問に思いました。各々の地区のローカルルールにも反映させていけるのか?
その場所だけで、決めるだけで終わっているのが現実ではないのでしょうか?それか、我々にまで情報は来ないのか?
本来なら、一年を通して一番長く海にいる人種であるセーリング連盟・サーフィン協会もこの中に入るべきなんだろうと、思いました。
我々のやるべきことは、情報をしっかり頂き、人と海をつなぐ為の情報発信、御前崎渚の交番では有益な情報を拡散して行きたいと思います。

